平成３０年３月２６日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
第八回会合の開催について

１．趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の今後の対応について検討するために，３月２６日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第八回会合を開催。

２．タスクフォース出席者

議　長	西村　康稔	内閣官房副長官
副議長	古谷　一之	内閣官房副長官補（内政）
	兼原　信克	内閣官房副長官補（外政）
構成員	新原　浩朗	内閣府大臣官房審議官（経済財政運営担当）
	佐々木　清隆	金融庁　総括審議官
	今林　顯一	総務省　国際戦略局長
	山野内　勘二	外務省　経済局長
	川村　博司	外務省　欧州局審議官
	柴崎　澄哉	財務省　大臣官房審議官（関税局担当）
	橋本　泰宏	厚生労働省　大臣官房審議官
	横山　紳	農林水産省　大臣官房総括審議官（国際）
	田中　繁広	経済産業省　通商政策局長
	掛江　浩一郎	国土交通省　大臣官房審議官（国際）
	其田　真理	個人情報保護委員会　事務局長

３．第八回タスクフォースの概要

（１）３月２６日，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースの第八回会合が，議長である西村官房副長官の下，１０関係府省庁等が出席して開催された。

（２）同会合では，各府省庁等から，英ＥＵ間の離脱交渉を含むこれまでに得られた情報や現時点の分析について報告があり，今後の対応について検討を行った。

（３）西村官房副長官は，交渉が透明性に配慮して進められていること，及び英国のＥＵ離脱後に，現状が基本的に維持される移行期間が設置される見込みであることを評価した上で，２０２１年以降の将来関係に関する交渉の本格化を受け，我が国として，英ＥＵ間の交渉状況を踏まえ，今後の対応を検討する必要があること，及び引き続き英国及びＥＵに対し，日系企業の要望に最大限耳を傾け，きめ細やかに対応するよう求めていく必要があることを述べた。

（４）また，西村官房副長官から，①英ＥＵ間の交渉の進展等を踏まえ、日系企業を始め経済界への情報提供を継続すること，②日系企業を始め経済界との意見交換を通じ，意見や要望を引き続き吸い上げること，及び，③英ＥＵ間の交渉状況も踏まえつつ，日系企業を含む経済界への影響が最低限となるよう，引き続き英国及びＥＵに働き掛けを行うとともに，関連する我が国の対応について必要な調整を行うことにつき関係府省庁に対し指示があった。（了）